

2023年11月9日(木)~12日(日)

いい地球の日記念イベント 開催報告

11月9日(木) いい地球の日 オンラインWEBセミナー

11月11日(土)・12日(日) レッドヒル園内イベント・あさつみマルシェ・FFCすこやか物産展

赤塚植物園グループは毎年11月9日(い・いち・きゅう)を「赤塚FFCの日」「いい地球の日」と定め、多くの人が地球環境や未来の社会のことを考える機会となること、また、水の技術“FFCテクノロジー”が社会に浸透し、地球環境に貢献していくことを願っています。

11月9日(木) 特別記念WEB講演(要約)

東京都市大学大学院 環境情報学研究科 教授 佐藤真久様



FFC & フィランソがSDGs でできること ～善循環のしくみづくりと社会課題の同時解決に向けて～

世界人口は増え続け、2050年には約98億人になるとと言われています。人が活動することによって、気候変動や生物多様性の喪失・自然災害など様々な社会課題が発生し、地球の限界を超える時代になってきました。2015年に国連で採択されたSDGsは、地球が抱える問題を17項目に分け、2030年までに達成するための世界目標となりました。

そんな中で、私たちが生きるこの時代は「**地球を救うチャンスを持つ最後の世代**」になるかもしれないと言われています。自然があつての社会、社会があつて経済が成り立つ現在において**「FFCテクノロジー」**は**自然をベースにしながら、海を綺麗にする・食や産業の基盤を変える力**を持っています。社会課題の解決のためには、外に期待するのではなく**自ら動くことが大切**です。

人も地球も便益を受け、幸せにあり続けるために、現代に生きる私たち大人が未来の社会のために大きく変わらなければなりません。

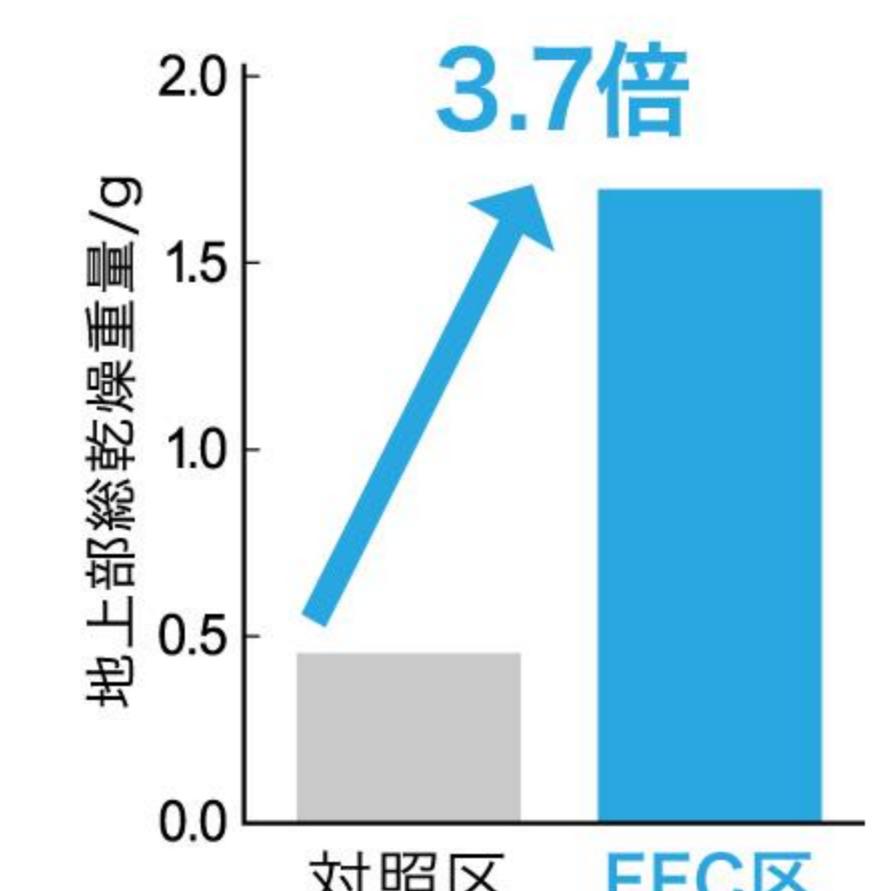
11月9日(木) FFC研究発表(要約)

(株)赤塚植物園 生物機能開発研究所 研究開発部 部長 杉浦裕幸

FFCテクノロジーの植物や土壤への“よい効果” ~SDGs達成や社会課題解決への貢献~

地球温暖化につながる温室効果ガスの中の一酸化二窒素の約半分が“農地由来”といわれています。土壤が肥料を保持する力を持ち、植物が適切に肥料を吸収することができれば窒素過多の土壤は少なくなり、大気中の一酸化二窒素の量も減っていきます。

FFC水(研究用)を使った植物実験では、**FFC水で育てたコマツナが著しく生長しました。**多くの方にFFC製品をお使いいただくことで、土壤の改善や地球環境の改善につながり、SDGsの目標達成に貢献します。



FFC製品により植物の生長促進や土壤団粒化が進むことで…

- ①植物の生育が良好に
- ②収量向上
- ③貧困や食料不足問題の解決に寄与
- ④保肥力が高まる
- ⑤肥料の流亡や放出を抑制
- ⑥温暖化や水質汚染防止
- 健康、生物多様性に寄与

11月11日(土)・12日(日) FFCすこやか物産展

FFCすこやか物産展では、FFC製品が活用された農産物、食品、各種加工品が並びます。

土壤環境を改善するFFCエースやFFCバーク堆肥、排水を流した先の環境を改善するFFC元始活水器等のFFC製品を活用された商品がたくさん流通していくことによって、SDGsの目標達成に貢献するものと考えております。



お客様との交流が楽しい物産展！

お客様との情報交換や試食を通して、事業者様の取り組みや商品への理解が深められています。



食べ比べてFFC活用商品の違いをPR！

岩塩を販売する丸粧様では、FFC活用された「満天の塩」と普通の岩塩の食べ比べを実施。お客様からは『満天の塩は味に角がなく、まろやか』と驚きの声。FFC活用による味の違いを体感されていらっしゃいました。



ご出展者様の嬉しいお声

- ・お客様に試食をしていただいたら、交流ができる楽しかったです！
- ・継続して出店することで認知度が上がるの、今後も継続して出店したいです。
- ・事業者の皆様と情報交換でき、交流できたのが嬉しかったです。
- ・4年ぶりの参加でしたが、以前のこと覚えていたお子さんにお会えビックリしました。
- ・お楽しみ抽選会もあり、お客様にたくさんお買い上げいただきました。

FFC・J TOPICS

vol.127

2023年11月11日(土) フィランソ本社ツアー
FFC活用事業者様によるスピーチ(要約)

IMM・zero(株) 代表取締役
荒木 康史様のお話



以前は住宅設備会社の東北支店長をしていましたが、東日本大震災で被災して命の尊さを感じ、これまで以上に人の役に立つ仕事をしたいと思うようになりました。そして、2020年から㈱ウッドサークルの関東工場を引き継ぎ、IMM・zeroを創業いたしました。

クロスや家具などから出る化学物質は室内空気を汚染し、様々な健康問題を引き起こしていますが、FFC免疫加工を施すこと、「空気がきれいで、呼吸のしやすい家」を創り出すことができます。

私たちはこの技術で「日本中をトリートメントする」というビジョンを持ち、住む人の健康維持増進に貢献したいと考えています。

(株)ときつ養蜂園 代表取締役
時津 佳徳様のお話



23歳の時に参加した赤塚本社セミナーで赤塚充良氏の言葉に感動し、「これから日本には‘食を支える大切な役割である農業’が必ず必要だ」と感じ、その道を志すようになりました。

安全・安心なハチミツを探るために、巣箱を山奥に設置し、FFC資材をふんだんに使いながら農薬を一切使用しない里山と田畠の管理を行っています。厳しい山の仕事ですが、ミツバチに優しい環境を作ることを第一に考え、地域の方々と助け合いながら日々事業を推進しています。

これからも赤塚充良氏の想いを乗せたFFC活用事業者の皆様と新たな価値を創出し、次の世代のための社会を作りたいと思っております。

日頃より弊社FFC製品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

FFCジャパントピックスでは、FFC製品をご活用いただいている事業者様の活用方法や活用後の変化、エフエフシー・ジャパン関係の最新ニュースなどを紹介しています。ぜひ日頃の業務にお役立てください。

株式会社 エフエフシー・ジャパン

〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3
TEL:059-230-3595 FAX:059-230-3380
ホームページ <https://www.ffc-japan.co.jp/>



2024年もどうぞよろしくお願ひいたします

旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

日頃よりFFC製品をご活用いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年は新型コロナウィルスの影響で制限されていた社会活動が再開し、各所でコロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつあります。一方で、様々な要因により国内では物価高騰の波が押し寄せ、生産者・消費者双方を悩ませております。また、世界全体の動きとしては、2030年のSDGs達成に向けた取り組みが社会に浸透し、私たちは今、大きな変革の時代の真只中にいるように感じております。

赤塚植物園グループの水の技術FFCテクノロジーは30年に及ぶ歴史の中で、一般のご家庭から農業や畜産、水産、食品加工、施設、住宅などの産業分野に広がり、健康・環境・経済の「善循環」を生み出してまいりました。具体的には、働く人の健康への寄与、動植物の健全な生育、作物や食品の品質向上、生産性の向上やコスト削減、よりクリーンな環境の実現や周辺の自然環境の改善といった現象が各種産業で確認されております。

これらのFFC導入による付加価値は、先行き不透明な現代において皆様の事業経営を様々な角度からサポートでき、また、SDGsの観点からも各事業者様の取り組みをFFCテクノロジーが後押しできる信じております。皆様におかれましては、ぜひ今後も弊社FFC製品をご利用いただき、その成果やうれしい変化をお聞かせいただけますよう何卒お願い申し上げます。

弊社ではFFCのさらなる普及に向けて情報を発信してまいります。そしてFFCテクノロジーが事業者様のさらなるご発展や課題解決に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて皆様とともに取り組んでまいりたいと存じます。

どうぞ本年も赤塚植物園グループならびに(株)エフエフシー・ジャパンをよろしくお願ひいたします。

株式会社エフエフシー・ジャパン
代表取締役社長 赤塚 耕一

株式会社 時麺 様(愛知県)

令和5年度 食品衛生全国大会(2023年10月19日)

食品衛生優良施設表彰 受賞



有限会社 わたり納豆 様(宮城県)

第27回 全国納豆鑑評会(2023年11月9日)

大粒・中粒部門 納親会長賞 優良賞 受賞

2004年よりFFC元始活水器V40型を導入いただいております(有)わたり納豆様が第27回全国納豆鑑評会(大粒・中粒部門)で「ミヤギシロメ大粒納豆」が優良賞を受賞されました。

審査は、納豆の「見た目」「香り」「味・食感」の3項目を評価し、審査員15人の採点で行われ、「納豆」の日本一を決めるコンクールとして毎年開催されています。この度の受賞、誠におめでとうございます。



今号のお花プレゼント

Aコース
ウルトララズベリー
超大王の苗



Bコース
黒の土作り2袋セット
(FFCバーク堆肥20L×2袋)



応募方法

同封の専用ハガキに必要事項をご記入の上、ご郵送ください。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名様にプレゼントをお送りいたします。

〆切

2024年1月30日(火)到着分まで
当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。